

コルドバ



www.spain.info



産業観光省
出版元: © Turespaña
作成: Lionbridge
NIPO: 086-17-059-4

無料配布

パンフレット内容については万全を期して作成
いたしましたが、お気づきの点がございましたら、
改善のために brochures@tourspain.es まで
メールでお知らせください。

表紙: 花の小道
裏表紙: ハンマン。写真: コルドバ観光局
(IMTUR)

目次

はじめに	3
コルドバで楽しむ街歩き	4
文化	11
コルドバを味わう	12
コルドバの四季	14
子連れで楽しむコルドバ	17
街の隠れた名所	18
コルドバの夜は更けて	22
コルドバ周辺おすすめスポット	23
サン・セバスティアンへのアクセス	25
コルドバ市内での移動	26

はじめに

世界遺産にも登録されている千年の歴史を持つ古都は、過去と現代が融合し、多くの文化が定着する中で、今も生き生きとした魅力にあふれています。

魅力あふれる街を歩けば、異国情緒たっぷりの色彩と香り、歴史が醸し出す神秘的な雰囲気に浸れます。

見ごたえのある荘厳な文化遺産や記念碑もたくさん。圧巻の**メスキータ大聖堂**を訪れたら、グアダルキビル川に架かる**ローマ橋**を渡り、細い路地と美しい中庭が印象的な**ユダヤ人地区**界隈を散策してみませんか？

伝統的な**グルメ**も試してみましょう。地中海料理に欠かせないオリーブ油は、ローマ人がイスパニアの地に到達して以来の長い歴史を誇ります。コルドバ産イベリコ生ハムやサルモレホなどの美味しい郷土料理も、この地を代表する味覚です。

コルドバは1年を通じてさまざまなイベントが開催され、**芸術、文化、レジャー**の中心地となっています。フラメンコ祭り、コンサート、ダンスなどのほか、数々の博物館で多くのアクティビティが楽しめ、ナイトライフも充実します。

太陽、歓喜、祝祭の精神にあふれるアンダルシア。5月になり、通りにジャスミンの香りがあふれ出すと、いよいよ待ちに待った**コルドバのパティオ祭り**の始まりです。この祭りは、ユネス



写真:コルドバ観光局 (IMTUR)

▲ コルドバのメスキータ

コの世界無形文化遺産にも登録されています。祭りの期間中、街中の白壁に美しい装飾が施され、人々を魅了します。

旅人を温かく迎え入れる**おもてなし文化**も、この土地ならではのものです。まるで故郷に帰ったかのような居心地の良さを感じるはず。街の魅力を満喫し、五感が呼び覚まされる体験を楽しんでください。



コルドバ で楽しむ街歩き

▲ ローマ橋

ユダヤ人街

狭い通りに白壁の家が建ち並ぶ、魅力的なエリアです。街全体にキリスト教、ローマ、イスラム、ユダヤの文化の面影が色濃く残っています。

アンダルシアの中でも独特な街並みを、**カラオラの塔**から眺めてみましょう。最高の展望を堪能したら、素晴らしい見どころがいっぱいの街を歩いて回ってみませんか？**ローマ橋**を通過してグアダルキビル川を渡ると、**プエンテ門**から市内に入ることができます。

そこからすぐ近くに、この街の要と言える、世界遺産の**メスキータ**があります。**免罪の門**から訪れてみましょう。美しい**オレンジの中庭**を通り抜け、中

に入ると2色の馬蹄型アーチと柱がどこまでも続く森のような空間が広がります。



▲ オレンジの中庭
コルドバのメスキータ



写真: 世界遺産都市

▲ ミフラーブ
コルドバのメスキータ

かつてミナレットとして使われていた塔にも入ることができ、その鐘楼に上ると、美しいパノラマとともに、メスキータの本館を面白い角度から楽しめます。施設最古のサン・エステバン門（ミフラーブ）も見逃せません。メスキータの中でもあまり人目に触れない神聖な場所にあり、ビザンチン様式のモザイクとドームが特徴的です。ゴシック様式、ルネサンス様式、バロック様式が混在するカトリック大聖堂は、メスキータの中心にあります。

同じ地区ではシナゴークも見学できます。スペインの中でも最高の保存状態と言われています。19世紀最初の四半世紀に建設され、最近まで別の用途に使用されてきました。多く残されているヘブライ語の碑文は、保全のための工事も行われ、ほかでは見られない圧倒的なクオリティーを誇ります。



写真: 世界遺産都市

コルドバで楽しむのが

▲ コルドバのメスキータ

そのすぐ近くで開かれているソコ・ムニシパルの美しいマーケットにも訪れてみましょう。ムデハル様式の2階建ての建物にあり、コルドバの職人たちによる銀や皮革、陶器などの伝統工芸品が展示販売されています。素敵な土産物を探すにもぴったりです。

コルドバ

コルドバのポサダ・デル・ポルト＝フォスフェリート・フラメンコ・センターは、フラメンコ文化に親しめる施設です。アンダルシアが誇る歌と踊りの魅力を紹介しています。楽器やアーティスト、衣装などの展示を通して、フラメンコの誕生と変遷について学べるようになっています。

旧ユダヤ人地区では、ゴシック様式とムデハル様式が混在するカサ・デ・インディアノのファサードを始め、特徴的なコルドバ式ファサードが多数見られます。メスキータがよく見えるフローレス通りの路地は、絶好の撮影スポット。写真映えする色鮮やかな風景が広がります。

① 詳細：

www.mezquita-catedraldecordoba.es

▼ コルドバの中庭





▲ キリスト教徒の王たちのアルカサル

サン・バシリオ（アルカサル・ビエホ地区）

グアダルキビル川沿いのサン・バシリオには、コルドバの名所のひとつ、アルカサル・デ・ロス・レイジェス・クリスティアノスがあります。14世紀に建てられた旧要塞で、アメリカ大陸発見の謁見が行われた場所としても知られています。アラブ文化に影響を受けた素晴らしい庭園も見ものです。モザイクの部屋に入り、ローマ時代の壮大な芸術を堪能しましょう。レセプションルームとして使われていた17世紀当時のクワイヤなどの歴史的調度品から、大航海時代の地図が描かれているテーブルなどの現代作品までを見ることができます。

このすぐそばには16世紀末にフェリペ2世の命により建設された**王立厩舎**があります。アラブ系のサラブレッドとして知られる種を繁殖し、スペインやアンダルシアの名馬に育てました。

また、アルカサルの近くには**ユダヤ人地区の城壁**があり、これは13世紀初頭にセファルディムの施設として機能した古い軍事的建築です。ここでは、サン・バシリオに通じるセビージャ門や、ユダヤ人地区を取り囲む壁の一部として今も残っている**ベレンの塔**を訪れてみましょう。

① 詳細：

www.turismodecordoba.org/alcazar-de-los-reyes-cristianos

サンタ・マリーナ

狭い路地にはコルドバの貴族の豪邸や旧家が建ち並ぶ雰囲気の違いを側面を訪ねてみましょう。

「闘牛士の地区」とも呼ばれ、古くからの伝統を継承する街です。人々が集まるコンデ・デ・プリエゴ広場には、1940年代に活躍したスペイン屈指の名闘牛士マノレテに敬意を表して建てられた像があります。像の正面には、街でも最古の教会のひとつ、13世紀創建の**サンタ・マリーナ教会**が鎮座します。教会のファサードを支える控え壁が突き出す様子は、まるで要塞のようです。

ビアナ宮殿も見逃せないモニュメントのひとつです。15世紀に建てられたこの邸宅には、素晴らしい12のパティオと屋敷の隅々をその香りで包む花々が咲き誇る美しい庭園があります。邸宅内では、5世紀にわたってここを住まいとした一族が蒐集したさまざまな芸術品（家具、絵画、モザイク画、タピスリー、タイルなど）を鑑賞できます。

また、内装の素晴らしさが際立つ**サン・アグスティン教会**は、バロック様式におけるコルドバの至宝とされています。最近の修復作業により、美しい壁画やフレスコ画も、当時の豊かな色彩が蘇りました。クエスタ・デ・サン・カジェタノとして知られている場所にある**サン・カジェタノ教会**の礼拝堂と、多くの類似点が見られます。そのヴォールトと細かい装飾に、圧倒されることでしょう。



▲ サンタ・マリーナ教会

魅力あふれる「詩人の庭」の付近では、12世紀のムラービト朝から残る**マルビアルの壁**に沿って歩いてみましょう。アシェルキアアを取り囲む城壁によって仕切られたこのエリアは現在、歴史地区となっており、アラブに支配されていた時代には職人や商人が住んでいたと伝わります。

① 詳細：

www.palaciodeviana.com

サン・アンドレス - サン・パブロ

平屋や商店、タベルナが並ぶ狭い通りを歩けば、コルドバラしい味わい深さを感じられます。イスラム時代にはシルク刺繍職人の居住区となりましたが、アンダルシアの街並みもそのまま残されています。この地区の中心となるサン・パブロ通りとレアレホ通りに、教会や高級住宅の多くが集中しています。

13世紀（1236年）にフェルディナンド3世の命により建設された中世の教会、フェルナンディナ教会とその管轄である**サン・アンドレス教区**は、コルドバのレコンキスタを伝える代表例です。一方、**サン・パブロの教会**は、そもそもローマのサーカスだったものが、後にアルモハド朝の宮殿とされたものです。見事な職人技によるムデハル様式のヴォールトは必見です。

その他の宗教的建物としては、ムデハル様式の**サンタ・マルタ修道院**があります。居心地の良い中庭からは、ゴシック様式のファサードを見ることができます。

宮殿や大邸宅もまた、この地区の大きな魅力です。**ビジャロネス宮殿**や**ロス・ルナ宮殿**などの建物は、ファサードにそれぞれの盾形紋章が飾られ、眺めていると時間の流れが止まったかのような気分を味わえます。

すぐ近くのサンペドロ地区にある、18世紀に建設された大きな**コレデラ広場**も、ぜひ訪れたい人気のスポットです。アンダルシアではここでしか見られない広大な四角形の広場では、テラス席に座ってタパスをつまんだり、伝統的な市場を見て回ったりと、楽しい時間を過ごせます。



サン・ロレンソ

街のレコンキスタが完了し、旧モスクを教会として建設したものが、伝統あるこの地区と同名の**サン・ロレンソ教会**です。ファサードのゴシック・ムデハル様式の見事なバラ窓が特徴で、コルドバで最も美しい教会のひとつとされています。この地区では、バロック様式の**恵みの聖母教会**もぜひ立ち寄ってみてください。17世紀に設立された三位一体修道院の一部で、内部には

「救済された私たちの父イエズス・ナザレヌ」や「慈悲深いキリスト」など、コルドバの人々の敬意を集めている宗教彫刻が数多く見られます。観光の締めくくりとして、サレジオ会の学校へ行ってみるのも良いでしょう。ここは扶助者聖マリアを祀るアンダルシア初の教会である**マリア・アウキシリアドーラ聖堂**があります。毎年5月24日には聖体行列が行われます。



メディナ・アサーラ

写真: コルドバ観光局 (INTUR)

メディナ・アサーラ

市内中心からほど近い場所にあるメディナ・アサーラ **考古学遺跡**へ行ってみましょう。10世紀にアブデラマン3世によって建設された、アル・アンダルスでも指折りの美しさを誇る宮廷都市の痕跡が見られます。自分のペースで見回るもよし、ガイド付きツアーに参加するもよし。過去の栄華に思いを馳せてみましょう。宮廷の広間に入ると、コルドバの街をカリフが支配した時代にさかのぼったかのような感覚を覚えます。

遺跡巡りは**ビジターセンター**からスタートしましょう。地下深くに降りていくと、昔のメディナの最も重要な時代に関する興味深い品々が見られます。その圧巻のコレクションには魅了されることでしょう。

遺跡には車もしくはバスでアクセスできます。10名以上のグループは、予め予約しておく必要があります。それ以下の場合には、事前予約は必要ありません。

① 入場券など、お問い合わせは観光案内所まで。または以下をご覧ください。

www.museosdeandalucia.es/web/conjuntuarqueologicomadinatalzahra
www.reservaturismodecordoba.org

メディナ・アサーラの遺跡は、ユネスコの世界遺産に登録されています。



文化

コルドバには博物館や美術館が多数あり、コルドバの歴史や文化、風習などを知ることができます。

▲ コルドバ美術館

ポトロ広場の旧慈善病院にある**コルドバ美術館**には、スペイン人画家作品の興味深いコレクションが収蔵されています。その中でも、バルデス・リアル、スルバラン、リベラ、ムリージョなどの画家による作品、マテオ・イヌリーアやフアン・デ・ラ・メサなどのコルドバ出身の彫刻家の作品などが有名です。

コルドバ美術館と中庭を挟んだ向かいには、**フリオ・ロメロ・デ・トレス美術館**があります。コルドバ出身のフリ

オ・ロメロは象徴主義の画家として知られ、神秘性を感じさせる作風で人気を博しています。ここでは、「ラ・チキータ・ピコネラ」や「オレンジとレモン」のような代表作も鑑賞できます。

ヘロニモ・パエス広場には、16世紀のルネッサンス様式の宮殿を活用した**コルドバ考古学民族博物館**があります。3つの中庭と8つの広間、先史時代からアル・アンダルスに至るまでの貴重な作品を見ることができます。



▲ メルセ宮殿

そのほかの興味深いアートスポットとしては、かつての修道院、**メルセ宮殿**も外せません。時折、特別展も開催されています。回廊など見どころも多く、コルドバを代表するバロック様式の建物のひとつとされています。

ユダヤ人地区のど真ん中にある**カサ・アンダルシ**も、魅力あふれるとても美しい場所です。アンダルシアらしさの中にもオリエンタルな雰囲気交ざる建物には音楽が響き渡り、色とりどりの花の香りに包まれています。また、興味深いアル・アンダルスの通貨コレクションのほか、カリフ統治時代のコルドバにおける製紙工程も見学できます。

現代美術に関心があるなら、最近改修が済んだ18世紀の中庭付き民家を活用した**ペペ・エスパリウ芸術センター**にも行ってみましょう。20世紀のスペイン芸術のキーパーソンとされる、画家で彫刻家のペペ・エスパリウの作品、約40点を常設展示しています。

① 詳細：

www.museojulioromero.cordoba.es
www.museosdeandalucia.es/web/museodebellasartesdecordoba
www.museosdeandalucia.es/web/museoarqueologicodecordoba



サルモレホ

コルドバを味わう

タベルナとタパスを知らずして、コルドバの食文化は語れません。美味しい小皿料理をつまみに、**モンティエリャ・モリレスのワイン**を味わいましょう。

これらは街中で楽しめ、特にサン・ロレンソ、サン・アンドレス、サンタ・マリーナに人気の店が集まります。その大部分は、1世紀以上続く老舗です。コルドバの魂とも言える、芸術的な食文化を堪能しましょう。

コルドバの**伝統料理**の中でもよく知られている**サルモレホ**は、トマト、ニンニク、パンくずで作る冷製クリームスープで、夏を代表する味覚です。コルドバのレストランでの定番料理はほかに、**フラメンキン**（イベリコ生ハムと豚ロースのロールカツ）、牛テール、魚のマリネ、アホブランコ（パン、アーモンドプードル、ニンニク、水、酢、塩、オリーブ油で作る冷製スープ）などがあります。

創作料理を提供するレストランも増えており、アンダルシア地方でもほかにはない、ユニークな食の体験が楽しめます。有名シェフ、パコ・モラレスはアンダルシア料理を再解釈し、伝統のレシピに新しい料理技術を採用。新感覚の味をぜひお試しください。

ご当地グルメを満喫するなら、市内にいくつかある市場も覗いてみましょう。グルメな食べ歩きにぴったりなのはビクトリア市場です。ここでは生の

食材からすぐに食べられる加工品まで豊富にそろいます。ビクトリア式の庭園内という絶好のロケーションも魅力。お気に入りの場所を見つけて、食事やタパスを楽しみましょう。

コルドバのケーキ、カベヨ・デ・アンヘルと呼ばれるクロダネカボチャを詰めたパイ、プエンテ・ヘニル名産のマルメロのジャムなど、この地域ならではのスイーツもたくさんあります。



写真: コルドバ/観光局 (NHK)

コルドバの 四季



写真:コルドバ観光局 (MTUR)

夏

夏にはコルドバ山脈を訪れ、素晴らしい自然を堪能し、リフレッシュしましょう。最も近いエリアはサンタ・マリア・デ・トラシエラで、車で約30分の距離です。

西に1時間ドライブすると、ブレーニャ湖とシエラ・デ・オルナチュエロス自然公園があり、豊かな緑や滝などの眺めが楽しめます。猛禽類の群れを目撃することも少なくありません。

夏の夜を満喫するなら、コルドバ王立植物園で開催される国際セファルディム音楽祭の野外ライブがいちばん。セファルディムの遺産をコンサートを通じて味わう、ユニークなイベントです。6月のフラメンコの白夜と、7月前半のギターフェスティバルもまた、見逃せないイベント。日程が合えば、ぜひ訪れてみてください。

秋

コルドバと言えば、馬も外せません。9月、10月、11月の3カ月はオートニョ・デル・カバーリョと呼ばれ、この美しい動物にまつわるアクティビティ、タイトル戦、イベント、ショーの大半が集中する時期です。

この時期にはもうひとつ、9月初旬に行われる**セファルディムの秋**という大きなイベントがあります。ほぼ2週間にわたりワークショップやコンサート、アクティビティが数多く開催され、スペイン国内のユダヤ人の歴史、文化遺産について知ることができます。

冬

コルドバのクリスマスの催し物には、**合唱団が歌うクリスマス**など、数々のサプライズがあります。このパレードではさまざまな合唱団が中心街の通りを練り歩き、祭りならではの雰囲気や賑わいが伝わってきます。

パティオのクリスマスも冬の風物詩で、この時期になるとポインセチアがパティオに飾られます。個人宅、公共施設を問わず、誰でも自由に出入りできるよう、多くのパティオが開放されます。

春

春の訪れとともに、オレンジやジャスミンの花の香りが街中を漂います。コルドバの祝祭が立て続けに行われ、1年でも最も華やかな時期となります。聖週間、春祭り、パティオ祭りの季節の到来です。



写真: コルドバ観光局 (MTUR)

▲ 5月の十字架祭り

キリストの受難を偲ぶ祭りである**聖週間**には敬虔な信者が大勢集まります。静寂に包まれる中、コルドバの歴史地区を粛々と巡る行列は特に感動的です。



写真: コルドバ観光局 (MUTUR)

▲ パティオ祭り

5月の前半にはパティオ祭りで盛り上がります。2週間にわたる期間中、コルドバ旧市街の住民は自慢の中庭をゼラニウムやカーネーション、ジャスミンなど多くの鉢植えで飾り、一般に開放します。ほぼ一日中見学が可能で、近くではフラメンコショーやコルドバならではの美味しいタパスやモンティージャ・モリレスのワインなどを楽しむことができます。

通常、5月下旬に開催されるコルドバ春祭りでは、色彩にあふれ、歓喜のムード一色となる街の様子を目にすることができます。アレナル地区に騎馬隊や伝統的な衣装で着飾った人々が集まる一方で、通りのあちこちに露店が並び、コルドバの地元住民も外国人も一緒になって飲み、歌い、踊る、祭りらしい光景が繰り広げられます。

① 詳細：patios.cordoba.es

子連れで楽しむコルドバ

家族連れにとっても魅力あふれる街です。

王立厩舎で見られるアンダルシアの馬の踊りは、小さな子供でも楽しむことができます。

さらに魅力的なのは、クルス・コンデ公園にある**子供の街**かもしれません。ブランコやジップラインなど多数の遊具やピクニックエリアを備え、売店で

は軽食も購入できます。入口はメネンデス・ピダル通りにあります。ここに向かう途中、あらゆるスポーツが各所で行われ、木々の間や庭園を通り抜けながら気持ち良く散歩を楽しめます。夏は森で星空観察をするのも良いでしょう。人工的に植えられた木々の下を通ると霧状の水がかかります。

リンネオ通りからは**コルドバ動物園**の入口が見えます。スケジュールが許せば、このエキゾチックで居心地の良い空間で数時間を費やすにはおすすめです。

▼ 子供の街



街の隠れた名所

滞在日数に余裕があり、ほかの場所にも行って視野を広げたい場合は、次のようなオプションもあります。まだ見ぬ街の魅力を発見すべく、さらに時間をかけて探索を楽しんでみませんか？



▲ 農業庭園

公園と庭園

数々の美しいモニュメント以外にも、アンダルシのこの街では多くの緑地でリラックスしたり自然を堪能したりすることができます。かつてフアン＝カルロス1世の庭園であったクルス・コンデ公園や、ビクトリア通りの広い緑道がよく知られています。

川辺には、美しさが際立つアルボラフィアの雑木林があり、小島や水鳥が集まる保護地区となっています。古い水車が、ウマイヤ朝の支配下にあった中世都市の面影を今に伝えます。

グアダルキビル川のほとり、サン・ラファエル橋の近くにはコルドバ王立植

物園があります。教育、科学の推進を目的に設計された植物園は、まさに多種多様な内容で、樹木園や自然林から、バラ園、庭園、温室、コルドバ式の中庭まで見られます。また、素晴らしい石の森も見学でき、ここには大規模な植物の化石が集められています。

隠れ家的博物館・美術館

コルドバの歴史や興味深い街の伝統について知ることができるスポットもたくさんあります。

そのひとつ、**カサ・デル・アグア**（水の館）博物館では、コルドバの自然水の循環、その利用、水中の生き物とその進化について見学できます。博物館が置かれた歴史ある建物には中庭、井戸や貯水槽、そして敷地内には城壁の一部とローマ水道もあります。

錬金術博物館も訪れてみましょう。かつて祖先たちが心酔した当時の最先端化学の世界に特化した、スペイン初の施設です。ロタ（十二宮が描かれている車輪）などの古い装置のレプリカや展示品、ビデオは、ユダヤ人地区の美しい建物で行われていた錬金術を理解するのに役立ちます。錬金術の研究室、蒸留器、小さな展望室もぜひ見学してみてください。

同じユダヤ人地区に、コルドバにおけるユダヤ人の過去の記録を残す**カサ・デ・セファルディム - カサ・デ・ラ・メモリア**があります。さまざまな展示室では、セファルディムの伝統とその後のディアスポラの発展で特に重要と見なされる側面を取り上げた常設展を開催しています。

カラオーラの塔の内部にも同系統の**アル・アンダルス・ライブ博物館**があ



▲ マイモニデスの像と広場

り、アンダルシア文化に触れながら、キリスト教、ユダヤ教、イスラム教によるプラスの影響を明らかにしています。

最後に、メスキータの隣りに位置する**ガダメシ・オメヤ家記念館**も紹介しましょう。ラモン・ガルシア・ロメロは、ウマイヤ朝時代に広まり、その品質と色彩豊かな装飾で知られる革製品をこの地で普及させた先駆者です。

① 詳細：

www.turismodecordoba.org/casa-de-sefarad

www.casadelaguaportillo.es

www.casadelaalquimiaaliksir.com

www.turismodecordoba.org/casa-de-sefarad

www.torrecahorra.es

www.guadameciomeya.com/museo

モニュメント

コルドバの見事な美しさの中に、深い秘密も隠されています。たとえば、市庁舎に隣接する**ローマ時代の寺院**です。

再建された現在の建物は、ローマ時代のコルドバの壮大さを示しています。当時のまま残る寺院の一部が、考古学博物館、**ラス・ドブラス広場**などで展示されています。ドブラス広場では、入口の柱の1本を見学することができます。

見逃せないモニュメントのひとつが**ブエンテ門**です。ローマ橋の端に位置し、かつてはアウグスタ街道とコルドバの街を結ぶ入口でした。門をくぐるとサン・ラファエル大天使の像が見えます。コルドバのあちこちにはこの大天使をイメージした像があり、街の保護聖人への地元民の信仰を表しています。

▼ ブエンテ門





写真: コルドバ観光局 (MTUR)

▲ ローマ橋

絶景のパノラマが広がるのは、街から15キロほど離れたところにある**エルミータ**です。中世から残る宗教的な瞑想の場で、敷地の中には、「聖心のキリスト像」が立つ見晴らしの良い展望台があります。コルドバの全景と、ベガ・デル・グアダルキビル郡の一部を見渡す、素晴らしい眺めが楽しめます。

▼ ラ・カラオーラの塔



コルドバの**連なる屋根の眺め**

街には大きな起伏がないため、街のモニュメント自体が歴史地区を眺める絶好の場所という場合もあります。

ローマ橋とグアダルキビル川を眼下に、川の向こう岸に広がる街の絶景を望む**カラオーラの塔の展望台**からは、コルドバの連なる屋根の美しさを堪能できます。

コルドバの地平線を眺められる場所と
言えば、**キリスト教徒の王たちのアルカサルの壁**です。歴史的な建造物に沿って歩くと、庭園の壮大さを目の当たりにすることができます。メスキータの塔からは、中心街の美しい眺望が見られます。

コルドバ

コルドバ の夜は更けて

夜のコルドバはお祭りムードでいっぱい。ナイトシーンでは、観光客や地元の人々が楽しめるイベントやモニュメント、そして日が暮れてから過ごすのにはぴったりなスポットが見つかります。



▲ 花の小道

アルマ・デ・コルドバはメスキータ大聖堂の夜間見学です。驚きにあふれる映像、サウンド、イルミネーションでその歴史を紐解きます。王立厩舎では、パシオン・イ・ドゥエンデ（情熱と小人）乗馬ショーで見事な手綱さばきを堪能しましょう。

ユダヤ街ではあちこちのバルやタブラオでフラメンコショー付きの夕食

を楽しむことができます。6月にはトロタカジェスのナイトマラソンが催され、またショッピング好きにはたまらないコルドバ中心地のショッピングナイトでは存分にお買い物ができます。美術館やガイドツアー、そして映画館、コンサート、夏の野外イベントなど、アンダルシアのこの街では月明かりに照らされて楽しめるアクティビティが数多く見つかります。

コルドバ周辺おすすめスポット

車で約30分のところにある魅力的な小さい村、**アルモドヴァ・デル・リオ**にも訪れてみましょう。イスラム教徒によって760年に建てられた威厳ある城が、丘の上から村を見下ろします。スペイン国内でも保存状態の良い重要な城塞のひとつです。周辺を散策してみましょう。村では1年を通して数多くのアクティビティが実施されています。

「セファルディムの真珠」として知られる**ルセナ**にも行ってみましょう。グラナダ王国の最後の君主、ボアブディル・エル・チコはカトリック両王の前に降伏する前、**カスティーリョ・デル・モラルの塔**で囚われの身となりました。この城塞は現在、**考古学民族博物館**になっています。さらに、古いシナゴグの上に建てられた**サン・マテオ教会**や、**サンタ・アナ公爵の美しい宮殿**を訪れてみても良いでしょう。

▼ アルモドバル・デル・リオの古城





▲ プリエゴ・デ・コルドバ

同郡で最古の村のひとつ、魅力あふれる**カブラ**にもぜひ立ち寄ってみてはいかがでしょうか。山々や泉、美しい自然が手つかずのまま残り、二重の壁とカブラ公爵の美しい城郭の中にアンダルシアの歴史が刻まれています。さらに、アンダルシアでも最も興味深いバロック様式の遺産のひとつとして、「聖母の大聖堂や天使の教区」などの至宝も残されています。

コルドバの美しい地区、プリエゴ・デ・コルドバでは、数多くの教会がイスラム教由来の歴史地区に散在します。

しかし間違いなく、この様式の最も象徴的なモニュメントは**王の泉 - 健康の泉**です。3つの池と1つの噴水が一体となっているこの彫刻を見ていると、辺りが静かで平和な空気に満ち、やすらぎの境地に達する心地がします。

最後に注目すべきは**フエンテ・オベフーナ**という、オーク林の中にある町です。著名な劇作家、ロペ・デ・ベガが書いた戯曲『フエンテオベフーナ』の題材となった、15世紀の民衆蜂起で有名な場所です。歴史的な出来事の舞台となった町では、地元住民による作品上演が恒例となっており、毎年夏にマヨール広場で行われています。また、町の教会や礼拝堂ほか、**カサ・カルドーナ**と呼ばれるモダニズム宮殿も訪れる価値があります。この中には**市立歴史博物館**も入っています。

サン・セバスティアンへのアクセス

AVE

速さと魅力を兼ね備えた**高速鉄道AVE**が、コルドバとマドリード、マラガ、バルセロナ、バレンシア、グラナダ、セビージャを結んでいます。さらに、コルドバとウエルバ、カディス間で高速列車が毎日運行します。

レンフェ・スペイン・パスは、スペイン在住者でない場合に限り、国内の長距離、中距離列車（AVE・Avantを含む）のすべてに乗車できるパスです。有効期限は初回乗車日から1カ月間で、乗車可能回数が4回、6回、8回、10回のパスがあります。

① 詳細は www.renfe.com でご覧ください



▲ AVE

空港

飛行機を利用する場合、最寄りの空港はマラガかセビージャとなります。いずれの空港からも車で1時間半ほど、AVEで1時間未満です。

① 詳細：www.aena.es

車

スペインの広範な道路網も利用しやすくなっています。マドリードやセビージャ方面には高速道路のA-4が便利。コルドバとグラナダ間はN-432が通り

ます。A-45は、コルドバとマラガをつないでいます。

バス

バスターミナルからは、マドリードやセビージャ、マラガ、グラナダなどの大都市だけでなく、近郊の町に向かう多くの直通バスが定期的に運行されています。

① 詳細：
www.estacionautobusescordoba.es



コルドバ市内での移動

コルドバは旧市街や主要な記念碑、観光スポットが比較的近距離にあるため、**歩いて**散策することができます。たとえば、andando.cordoba.esのウェブサイトで提案している7つの散策コースを試してみたい場合は、すべてのコースがメスキータ大聖堂を終点としています。

また、市街と郊外を結ぶ**公共交通機関**網も整っています。コルドバを移動するには**バス**が便利です。何度も乗り降りをしたい場合は、**ボノ・デ・トランスポルテ**交通カードを利用しましよ

う。このカードはさまざまな施設で購入・再チャージが可能です。

また、**馬車**に乗って市街地を散策することも可能です。馬車乗り場は、メスキータの横やアルカサル・デ・ロス・レイジェス・クリスティアノス近辺にあります。

① **詳細:**

www.andando.cordoba.es



詳細情報

コルドバ観光者受付センター
 Plaza del Triunfo
 14003 - Córdoba (Andalucía)
informacion@turismodecordoba.org
www.turismodecordoba.org

スペイン政府観光局
 公式サイト
www.spain.info



X @spain

Instagram @spain

Facebook Spain.info

YouTube /spain

TikTok @visitSpain